1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2019 年　12 月 25 日発行　SSKR 増刊通巻第 8850 号

# SSKR

# にじの会だより

Vol.72

社会福祉法人　にじの会
理事長　石崎　優仁
〒181-0015　東京都三鷹市大沢１－６－3
TEL 0422-39-2411
FAX 0422-39-2412
ホームページ：http://nijinokai.org

## あけましておめでとうございます

社会福祉法人にじの会理事長　石崎優仁

２０２０年の新年を皆様いかがお迎えになられたでしょうか。

昨年は、にじの会も法人設立から１８年を迎え、いくつかの重要な課題に取り組みました。

まず、高齢化の課題です。当初からの利用者の方々も１７年経過する中で高齢化による心身機能低下が多くの方に発生してきており、利用者のご家族の高齢化は更に進んできています。にじの会では、高齢化による機能低下防止の取組を実施するとともに、要介護状態の方には介護保険の施設サービス利用への円滑な移行に努めてきております。また、帰省期間等での家族の負担の低減も実施いたしました。

一昨年からの重点課題である「重度利用者の意思決定や自己表現への支援」に ICT 機器を活用する取組を昨年は法人全体で実施いたしました。電気通信大学の水戸准教授のご協力を得て、タブレットを使って個別余暇プランをスタッフと一緒に作成する等の取組を進めており、広範囲な実用化を図っています。

同時に、昨今の福祉職員不足に対応する取組も引き続き推進いたしました。研修の充実等によりキャリアアップを促進し、同時に働き続けやすい職場づくりに向け産休育休・介護休業等の取得を促進するなど、職員自身がプロジェクトを組んで働きやすい職場づくりに取り組んできております。

２０１７年６月から開始した三鷹市大沢地区の高齢者買い物送迎支援事業も２年半が経過し、昨年１０月には東京都社会福祉協議会の地域公益活動実践報告会で最優秀実践例として特別賞を受賞しました。１１月に第２回記念交流パーテイーを実施し地域のケアネットと共同した共生の地域づくりがしっかりと定着してきております。

来年は、法人設立２０周年を迎えます。今年は、これまでの取組を充実させていくとともに、次の１０年に向けた中期計画の策定と、設立２０周年記念事業の準備も始めていく必要があります。

にじの会役職員一同、皆様のご指導とご協力を頂きながら頑張ってまいりますので、本年もよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、今年が皆様に幸多き年になりますよう祈念申し上げます。

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2019 年　12 月 25 日発行　SSKR 増刊通巻第 8850 号

# 買物送迎支援事業 第２回記念交流パーティー

三鷹市大沢地区で始まった高齢者買物送迎支援事業「買い物ツアーかわせみ」も２０１７年６月の本稼働から２年半が経過し、実施回数は 300 回を優に超え、参加延人数も 1,800 名となりました。

その間、利用者さんのケガや事故もゼロ、車両事故もゼロで、安心、安全、そして楽しく参加していただける買い物ツアーを運営することができました。

それを記念して、2019 年の 11 月 16 日に第 2 回記念交流パーティーを大沢にじの里ダイニングにて開催し、利用者の皆様と来賓の河村三鷹市長、買い物ツアーかわせみの得能代表、岩田大沢住民協議会副会長、地域包括センターの外山様を含め 40 名程の方が参加されました。

「石崎理事長　挨拶」

「河村三鷹市長　祝辞」

「かわせみ 得能代表 挨拶」

「大沢住協 岩田副代表 祝辞」

「地域包括センター 外山様」

にじの会へ花束贈呈

パーティーは主催者挨拶、ご来賓祝辞、乾杯と進行し、ハーモニーで作った『にじのお弁当』を広げ会食、歓談、そして、ピアノの伴奏で歌の合唱などを楽しみ、和やかな雰囲気の中、盛大に行われました。また、去る 10/2 に開催された東京都地域公益活動推進協議会主催の『社会福祉法人の地域における公益的な取組み実践発表会』の発表も行い、利用者の皆様から、感謝の気持ちや今後も継続して欲しいなど多くのお言葉をいただき、にじの会へ花束が贈呈されました。

これからも安全第一で、楽しいツアーを提供できるよう取り組んで参ります。

（地域貢献事業　主任　木村高大）

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2019 年　12 月 25 日発行　SSKR 増刊通巻第 8850 号

# 第９回スポーツ大会の報告

２０１９年１１月２２日（金）第９回にじの会スポーツ大会を、三鷹中央防災公園・元気創造プラザ内ＳＵＢＡＲＵ総合スポーツセンターメインアリーナにて開催致しました。会場として使用した体育館は、日々の運動活動でも使用し、大会に向けての練習を積み重ねてきた施設でもあります。今大会のスローガンは「心をひとつにがんばろう」にしました。参観して頂いたご家族の応援を力に、利用者全員が自己の成果を達成し、利用者、ご家族、スタッフの一同が「心をひとつ」にした大会となりました。

（支援専門 運動 桒本武）

「誓いの言葉」

「応援旗」

「選抜リレー」

「応援席」

「プレイバルーン」

# 三鷹市民駅伝の報告

２０１９年１１月２４日（日）第２８回三鷹市民駅伝大会、一般男子の部に利用者４名が出場しました。第一走者　小林龍介さん、第二走者　吉野敏弘さん、第三走者　串田佳輝さん、第四走者　町永敦郎さんでした。当日は、早朝まで雨が降り続き路面が濡れて厳しいコンディションでしたが、昨年に続いて１時間以内の５９分７秒でゴールすることができ、１３７チーム中９３位という成績を収めることができました。温かいご声援をいただきありがとうございました。

（支援専門 運動 髙橋祥亮）

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2019 年　12 月 25 日発行　SSKR 増刊通巻第 8850 号

# クリスマス会・大沢にじの里

「第 16 回にじの里クリスマス会」が今年も大沢にじの里にて盛大に行われました。皆さんクリスマススペシャルメニューに舌鼓を打ち、ステージでは「みっちょ」さん、「木谷バンド」さんの素敵な歌や、「ＲＩＫＩＯＨ」さんの華やかで利用者参加型のよさこいで大いに盛り上がりました。

ステージの後は皆でケーキを楽しみ、サンタさんからプレゼントを受け取り笑顔のたえない一日となりました。　（大沢にじの里　垣野）

# クリスマス会・にじアート

にじの会のクリスマス会が大沢にじの里、にじアートに分かれて 2 回目の開催となりました。当日は、成人生活介護利用者、放課後等デイサービス利用児童合同で実施しました。日頃の活動でも合同での機会が増えているため、みんなで楽しいひと時を過ごすことができました。演奏ボランティアは、稲城二中シンガーズ、トランポーターズ、Ayanim（アヤニン）に出演いただき大いに盛り上がりました。サンタさんからクリスマスプレゼントを貰う場面で、皆さんの MAX 笑顔を見ることができました。とても満足できたクリスマス会だったことと思います。　（にじアート　坂野）

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2019 年　12 月 25 日発行　SSKR 増刊通巻第 8850 号

# 成人式

2020 年にじの会成人式が 1 月 10 日（金）に行われ、尾林寛太さん（にじの里きずなグループ）建石七海さん（未来工房にじ食品加工）小川海衣音さん（ハーモニー惣菜工房）の 3 名が大人の仲間入りをしました。正装したの新成人の皆様・ご家族の皆様、にじの会役職員と共に、厳かな成人式となりました。お祝いの言葉と共に記念品が贈られ、新成人の皆様に届いた祝電を披露させていただきました。新成人の皆様、ご家族の皆様、式への出席ありがとうございました。

第２部の新成人を祝う会では利用者の皆さんによる「夢の世界を」が歌われ、新成人の皆様、ひとりひとりが輝いて、大きな節目になる大人へのスタートとなりました。職員一同もとても心に残る感動的な式となりました。あらためて、おめでとうございます。　　（定期行事担当　垣野）

# ハーモニーおつかれさま会（クリスマス会）

１２月２３日（月）におつかれさま会（クリスマス会）を行いました。内容は毎年利用者とスタッフの意見を出し合い決めていますが、今年は皆で昼食を作って食べました。昼食のメニューはクリスマスにちなんで、ちらし寿司、からあげ、スープ、ケーキなどです。昼食作りでは、普段別々の工房で仕事をしているメンバーとも協力し合い、温かい料理が出来ました。また、無地のクリスマスツリーにオリジナルの飾りつけをしていただくことで、カラフルなツリーが完成しました。一人ひとりが主体的に参加し、イベントを盛り上げてくださいました。今後もハーモニーの皆さんが参加したいと思えるイベントをともに考えていきたいと思います。　　（ハーモニー　清水）

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2019 年　12 月 25 日発行　SSKR 増刊通巻第 8850 号

# １２月２８日第４回全体研修会報告

12 月 28 日（土）に職員研修として第 4 回全体研修を実施しました。テーマは「外部研修、ＩＣＴ実践発表から他部署等の取り組みを学ぶ。」とし、研修の目標は「ＩＣＴ実践発表から他事業所の取り組みを知り、自部署での利用者支援に活かせるようにする。」「にじの会が実践している地域貢献事業を学び、施設と地域のかかわり方について考えていく」でした。

午前の部では、まず施設体験等研修報告が５件行われました。他の障害者支援事業所や高齢者施設の支援方法の実例報告と就労支援状況や支援チームづくり等の職務に活かせる素晴らしい発表でした。

次に、ＩＣＴ実践報告の発表が各事業所からありました。全面導入から９カ月になり、各事業所の特色に合わせた取り組みで、利用者支援への活用状況が具体的に見える報告内容でした。また講評で、電気通信大学准教授の水戸和幸先生から、意思決定では視覚的なアプローチが有効で、その大きな助けになるのがＩＣＴの活用であり、ＩＣＴを導入していく上でのメリットや課題等を、ご自身の経験を踏まえた上で、分かりやすく説明していただきました。

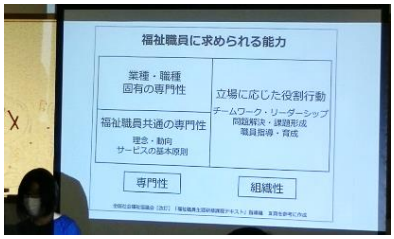
午後の部では、まず第三者評価結果の報告が福祉推進機構アシストよりありました。にじの会のＩＣＴの取り組みやＢＣＰの策定と訓練、地域貢献活動等が高く評価されました。

次に、地域貢献事業買物送迎「かわせみ」の事業報告が行われました。「社会福祉法人の地域における公益的な取り組みの実践発表会」にて特別賞を受賞した取り組み内容は、三鷹市大沢地区で自力での買い物に困難がある高齢の方に向けた、スーパーやホームセンターなどへの無料の送迎サービスとランチタイムの提供です。３５０回超の実施回数になり地域住民から感謝を頂いている現状が報告されました。

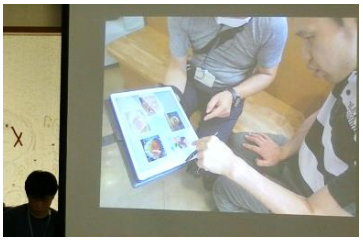
引続き、にじの会顧問の諸沢洋子先生と北目茂先生による講話がありました。諸沢先生からは精神保健の視点から、利用者の方に対しては丁寧に傾聴する事や、「管理」することではなく「自立」へ向けた支援の大切さ、精神障害と知的障害の支援の共通性等が話されました。北目先生からは理学療法の視点から老化についてのお話がありました。老化の内容や気づき方がわかりやすく説明されました。にじの会の利用者さんも高齢化が着々と進みつつあります。法人としても真剣に取り組むべき課題であり、改めて高齢化対策の大切さに気付かせてくれる内容でした。

１日を通し、今後の法人の展望も含め、職員にとって大変充実した内容の研修となりました。

（研修委員会　保坂　啓）




外部研修報告



ICT 実践発表

講話　（諸澤洋子氏）

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2019 年　12 月 25 日発行　SSKR 増刊通巻第 8850 号

# 各種職員懇談会報告（人事制度プロジェクト）

今年度人事制度プロジェクトでは、様々な働き方による職員それぞれの意見提案型懇談会、また職員自身の主体的なキャリアアップを通じた同期意識の醸成等を目的とした等級別職員懇談会を企画実施しました。

## ＜新シニア等級職員懇談会＞

今年度シニア等級へ昇格した職員による職員懇談会を、「新任職員懇談会」と同じハーモニーガーデンで 10 月に実施しました。今年度からシニア等級の職務を担当することで、仕事上の悩みや課題、疑問点など広く抱えるようになったことの共通の課題に対し、仲間と一緒に懇談することで、さらに前を見据え、意欲を高め合えることを目的としました。懇談会は、グループワークや個人ワークを織り交ぜ、各々の将来ビジョンを通じ、自身を振り返りつつ、にじの会の現状と未来についても意見発表しました。また、チームワークを促進出来る職場であるための方策やアイデアなども発表しました。参加者からは、「他の方と同じ目線で話が出来たことが良かった。和気あいあいとした雰囲気だった。」「他スタッフの仕事に対する真摯な姿勢・考えを聞くことが出来て良い刺激になった。」等の意見が挙がり、懇談会後は食事会で更に懇親を深めることができました。

## ＜産休育休職員懇談会＞

昨年に引き続き、今年度も産休育休に向けた関心のある職員の方々が、今後の参考となる意見や経験談を活発に現場レベルから提案して頂き、今後の新たな制度設計に結び付けられるよう企画実施しました。参加者からは、「働く時間や安心して復帰できる仕組みや安心して働けるための設備や経済的サポートの提案」「職場の理解、安心して伝えやすい環境・仕組みに関するアイデア」などが挙がりました。また、今回は「男性の積極的な育休取得を期待したい。職場の理解度が一層高まるのでは」といった男性職員の育休取得に関した意見も挙がるなど、参加者自身の主体性が強く印象に残った懇談会となりました。

## ＜介護休業職員懇談会＞

この懇談会も昨年に引き続いての実施となりました。「介護」というとどうしても「大変だ」というイメージが先行してしまいがちであるため、スタッフ自身が抱え込んでしまうのではといった感想が共通に挙がりました。経験者からは「介護保険サービスなどを最大限フル活用し、自分で介護し過ぎない」「自分の時間を確保する（心身充実させる）」といった意見が挙がり、そのような事柄を気軽に相談出来る窓口、そして定期的に情報交換し合える場の設定などの要望や意見が多く聞かれました。

今後も、人事制度プロジェクトでは、各働き方や職務等に悩む職員それぞれが孤立化しないように、常に情報を共有しながら、前向きに仕事と家庭のバランス・キャリアアップの形成が見通せるよう、様々な懇談会を有機的に企画していき、新たな制度や設備等の提案に結び付けていきたいと思います。

（人事制度プロジェクト　新津健朗）

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2019 年　12 月 25 日発行　SSKR 増刊通巻第 8850 号

# ２０１９年職員表彰の報告

２０１９年の職員表彰は１２月２８日の全体研修会の場で行われました。今年は１５年勤続２名１０年勤続１０名、５年勤続８名と多くの勤続表彰者がありました。また、昨年から取組んでいるICT プロジェクトが研究功労賞を受賞し、２年半継続している買い物送迎支援事業が運営功労賞を受賞しました。各受賞者には賞状と賞金が授与され出席者全員の祝福を受けました。

１．研究功労賞

ICT プロジェクト　（田中克樹・時田秀明・羽石敏・田島多恵子・首藤円美
山下典孝・白坂伸・長谷川靖）

＜表彰事由＞　タブレット等の ICT 機器を利用者の意思決定支援・自己表現支援等に活用し、利用者の活動内容の向上に有効に機能しており、法人全体に実践利用を進めている。

２．運営功労賞

買い物送迎支援事業担当　（木村高大・曽根隆・綱本誠・三浦正治・飯野龍二）

＜表彰事由＞　大沢地区高齢者買い物送迎支援事業「かわせみ」が２年半にわたり無事故で３５０回超の送迎を実施し、１０月には東社協の地域公益活動実践発表会で特別賞を受賞した。

３．勤続表彰

優秀勤続１５年賞　花井瑞明・片岡紘二

優秀勤続１０年賞　清水澄雄・中嶋みゆき・山下典孝・横倉　忍・南　直志・佐藤智観
田島多恵子・諏訪　拓・望月由美・佐藤美絵

優秀勤続５年賞　望月喜雄・臼井絵子・黄檗文博・大田裕介・保坂　啓・高野　亘
小野瑛介・大場妃佐子

**『にじの会だより 72 号』　定価　50 円**

**発行所：特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会**

〒157-007　東京都世田谷区祖師谷 3-1-17　ヴェルドゥーラ祖師谷 102 号

TEL:03-6277-9611　FAX:03-6277-9555

**編集人：社会福祉法人にじの会**

181-0015　東京都三鷹市大沢 1-6-3　TEL：0422-39-2411　FAX：0422-39-2412